

第29回 樹木医対象講座 リモート配信&リアル講座プログラム

テーマ：文化を育む森林・樹木の保全について

開催日時：令和7年5月31日（土） 13:00~16:30

森林や樹木がもたらす多面的な機能が国際的に注目され、グリーンインフラやネイチャーポジティブや30by30といった、世界で推進されている取り組みにおいて重要な位置づけになっています。

また、森や樹木がもたらす歴史的価値や文化的機能は、日本人の自然観の形成に大きく影響しています。

森林や樹木に最前線で対面する樹木医にとって、その保全活動の在り方は優先順位の高い課題とも言えます。

今回の講座では、数多くの調査や研究を行ってこられたお二人の先生に登壇頂き、保全の意義やその手法について学びます。

なお、今回の講座は、日本樹木医会大阪府支部とNPO おおさか緑と樹木の診断協会の定期総会の後に開催されます。そのため、総会会場となる谷町センタービル会議室でのリアル参加とZoomによるリモート参加の併用となります。申し込みの際はご注意ください。

主 催：(一社)日本樹木医会大阪府支部、NPO おおさか緑と樹木の診断協会

開催日時：令和7年5月31日（土）13:00~16:30

開催場所：谷町センタービル1階会議室（大阪市中央区谷町2丁目4-5）

開催方法：Zoomでのリモート開催と会場でのリアル参加の併用開催

樹木医CPD：3単位申請中

対 象：日本樹木医会所属樹木医、NPO おおさか緑と樹木の診断協会員

参加費：無料

○リモート(Zoom)参加者の申し込み方法：次よりお申込みください（定員100名）

<https://kokc.jp/e/db23dd097de13301c73538b9770c13bd/>

○谷町センタービル会議室でリアル参加希望の会員の皆様（定員50名）

午前中に開催される(一社)日本樹木医会大阪府支部とNPO おおさか緑と樹木の診断協会の総会后、お昼休みをはさみ開催されます。リアル参加をご希望の方は、昼食をすませて直接会場にお越しください。

○リアル参加会場 谷町センタービル（1階会議室）所在



大阪府中央区谷町2丁目4-5

●谷町四丁目駅

4番出口より徒歩2分（約150m）

●天満橋駅

徒歩約7分（約450m）

<プログラム>

（*Zoomへの入室は12:50過ぎからとなります。）

13:05 - 14:35 【講座No.71】

地域の森林生態系の保全と課題－文化と人が育む森のフィールド調査を通して

日本の豊かな自然に対する脅威は複合的であり、人間の自然に対する視座と活動が、生物多様性の保全において重要な意味をもつことはいまでもありません。前迫先生が研究対象としている春日山原始林(特別天然記念物)のフィールド調査から、生物多様性の劣化に大きな影響を与えているシカと森林の関係性、ウツクシマツ林(天然記念物)の遺伝的構造と保全の視点、東北の社叢における「日本版 OECM：自然共生サイト」申請に関する取り組みなどを紹介頂きます。

奈良佐保短期大学教授（副学長）前迫ゆり

14:50 - 16:20 【講座No.72】

歴史を伝える森や樹木の保全について

歴史を伝える森や樹木が失われつつある現在、それらを地域の宝として、如何様に残すべきか。いくつかの事例を紹介頂き、後世に残す意義やその保全の仕方について、皆さんとともに考えていきます。

（一社）公園からの健康づくりネット 理事長 糸谷正俊